

PRESS RELEASE

思ひ草(ナンバンギセル)が咲き始めました



撮影日 令和5年8月31日(木)

撮影場所 国営飛鳥歴史公園 高松塚周辺地区

平素より国営飛鳥歴史公園の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

9月になり、当公園の高松塚周辺地区、石舞台地区ではナンバンギセルの花をお楽しみいただけます。今年は例年と異なり高松塚周辺地区が見ごろです。

ナンバンギセルはススキなど限られた植物に寄生する植物で、赤紫色の筒型の花が地面近くにひっそりと咲き、万葉集では「思い草」と詠まれています。

つきましては、ご多忙中のことと存じますが、皆様には是非取材ならびに記事掲載のほど、よろしくお願いいたします。

お問合せ先 国営飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター広報担当 伊藤・滝・深町・東山

TEL 0744-54-2441 / FAX 0744-54-4633

〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538 <https://www.asuka-park.jp/>

ナンバンギセル

ナンバンギセル(南蛮煙管)とは

ハマウツボ科ナンバンギセル属の寄生植物。8月から9月にかけて開花します。葉緑素をもたないため、ススキなどイネ科植物の根元に寄生し生育します。花は直立して15センチ程度になります。

花の姿形が独特で、初めて見る人は少し驚くかもしれませんが、国営飛鳥歴史公園の晩夏をひそやかに彩る花です。公園散策のついでに探してみませんか？

ナンバンギセルは、万葉集にも歌われています。

その姿から、物思いにふける人の姿とみられたのでしょうか？



道の辺(へ)の 尾花が下の 思ひ草

今さらさらに 何をか思はむ

巻 10-2270 作者未詳

(道のほとりに茂る尾花の下で物思いにふけっているように咲く思ひ草。その草のように(私は)もう今さら思い迷ったりなどするものか)

これから咲くナンバンギセルが立ち上がっています。まるでムーミンにでてくるによろによろのような姿はとってもユニークです。



